

地 図

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

	発行者の番号及び略称	教科書名
2	東 書	新編 新しい地図帳
46	帝 国	楽しく学ぶ 小学生の地図帳

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

	観 点	視 点	方 法
(ア)	基礎・基本の定着	①	地図帳に関する説明の仕方の工夫 地図の見方の記載例及び資料等の活用方法の例
		②	我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫 国土の地理的環境や歴史的事象及び国際理解に関する学習への活用に向けた記載の例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③	興味・関心を高めるための工夫 興味・関心を高めるための例
		④	課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫 作業的・体験的な学習課題の例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑤	単元や資料等の配列 統計資料と地図の扱い
(エ)	内容の表現・表記	⑥	資料読取りのための工夫 ユニバーサルデザイン等に関する配慮
(オ)	言語活動の充実	⑦	観察・調査や各種資料の活用の工夫 地図を活用した調べ方の例
		⑧	調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫 地図を活用した表現の例

【地図】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①地図帳に関する説明の仕方の工夫
方法	地図の見方の記載例及び資料等の活用方法の例

地図の見方の記載例及び資料等の活用方法の例		
	地図の見方〔ページ数〕	資料等の活用方法
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「地図のきまり」で、方位、地図記号、凡例、縮尺の見方、土地の高さの見方について、イラストを使って説明している。〔4〕 ○ 「地図帳の使い方◆凡例、さくいん◆」で、凡例、索引の使い方について、「◆縮尺◆」で、詳しく見る地図・地方別に見る地図・広く見る地図の見方について、イラストを使って説明している。〔2〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 二次元コードを掲載しており、日本や世界の白地図がダウンロードできたり、日本の特徴ある地形について説明した動画を視聴したりすることができるようにしている。 ○ 「さくいん」の「さくいん」に取り上げた地名」で、地名の種類を表す記号・色、ページ、横の線の間数字、縦の線の間カタカナによる場所の探し方を示すとともに、これまでの学習で調べた項目が記録できるように、索引の項目ごとにチェック欄が設けられている。(掲載数：日本の地名 約 2,200 項目、世界の地名 約 470 項目)
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「地図のやくそく (1) (2) (3)」で、方位、地図記号、土地利用の見方について説明している。〔6〕 ○ 「地図帳の使い方 (1) (2)」で凡例、土地の使われ方、陸の高さの見方、索引の使い方、縮尺の仕組みと距離の求め方について説明している。〔4〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 二次元コードを掲載しており、各都道府県のテーマごとの地図や日本や世界の統計地図を閲覧したり、地図の成り立ちについて説明した動画を視聴したりすることができるようにしている。 ○ 「さくいん」の「さくいんの見かた」で、地名の種類を表す記号・色、ページ、列の記号と行の記号による場所の探し方を示している。(掲載数：日本の地名 約 2,200 項目、世界の地名 約 400 項目)

【地図】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情や国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を育てるための工夫
方法	国土の地理的環境や歴史的事象及び国際理解に関する学習への活用に向けた記載の例

国土の地理的環境や歴史的事象及び国際理解に関する学習への活用に向けた記載の例			
	国土の地理的環境に関する学習への活用	歴史的事象に関する学習への活用	国際理解に関する学習への活用
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本とそのまわり」で、日本の国土と近隣諸国等の地理的環境を示している。また、東西南北の端の島（択捉島、与那国島、南鳥島、沖ノ鳥島）の位置を示すとともに、同じ見開きページに写真入りで紹介している。さらに、尖閣諸島、竹島については、写真を掲載しているページを掲載している。 ○ 地方図の中に、主要都市の拡大図を掲載している。 ○ 「日本の自然災害」で、記録に残る被害を出した地震や豪雨、噴火等の災害発生場所を地図に示すとともに、被害状況を伝える写真等を掲載している。 ○ 巻末の「世界の国々」で、世界の国々の国旗や時差を説明するイラストを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各地方図には、歴史的事象・建造物等を地図上に青地に白抜き文字で掲載している。 ○ 「日本の歴史◆世界とのかかわり◆①②」で、年表、地図、イラストを用いて、各時代における国名や、日本と他国の関わり、明治初期や第二次世界大戦後の日本の領土・領域について示すとともに、年表中の主な出来事について各地方図中のページを掲載している。 ○ 「日本の伝統文化◆歴史的景観、祭り、食文化◆」の「1 日本のおもな歴史的景観と祭り」で、各地の祭りの位置をイラスト等で示すとともに、世界文化遺産等の写真を掲載し、地図にその位置を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「地図のぼうけんに出発！ World Map」のイラストマップに、世界の特産物等をイラストで示すとともに、「世界みんなに「ありがとう！」」で世界の言葉を紹介している。
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「広く見わたす地図」で、日本の国土の地理的環境を示している。 ○ 「日本の領土とそのまわり」で、日本の国土と近隣諸国等の地理的環境を示している。また、東西南北の端の島（択捉島、与那国島、南鳥島、沖ノ鳥島）の位置を示すとともに、同じ見開きページに写真入りで紹介している。さらに、北方領土、竹島、尖閣諸島についても、同じ見開きページに「日本固有の領土」として写真入りで紹介している。 ○ 各地方図の中に、主要都市の拡大図を掲載している。 ○ 「日本の自然災害と防災（1）」で、主な地震の震源を地図に示すとともに、被害状況を伝える写真等を掲載している。「日本の自然災害と防災（2）」では、各地の防災の取組や防災マップ作りについて掲載している。 ○ 巻末の「世界の国々」で、世界の国々の国旗や時差を説明するイラストや吹き出しを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各地方図には、歴史的事象・建造物等を地図上に青地に白抜き文字で掲載している。 ○ 「日本の歴史」の「1 日本のおもなできごと」で、年表とともに主な出来事について各地方図中のページを掲載するとともに、「3 日本のおもな昔の境界とおもなできごと」で、明治元年当時の国名、昔の国名がついた特産物を掲載している。また、「4 日本のおもな領土のうつりかわり」で、明治時代初めや第二次世界大戦後の日本の領土を示している。 ○ 「日本の世界遺産」で、世界自然遺産と世界文化遺産の写真を掲載し、地図にその位置を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「地図で世界発見！」のイラストマップに、世界各地の名所や食事、日本が多く輸入するものをイラストで示すとともに、「世界の国からこんにちは！」で、世界のあいさつを紹介している。

【地図】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	③興味・関心を高めるための工夫
方法	興味・関心を高めるための例

興味・関心を高めるための例	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全般にわたって、キャラクターの吹き出しで、地図活用の手掛かりやその土地の様子等を紹介するとともに、「ホップ/ステップ/マップでジャンプ!」で、地図への関心や地図を読む力を高める工夫をしている。 ○ 巻頭の「地図のぼうげんに出発! World Map」のイラストマップに、世界の特産物等をイラストで示すとともに、「世界みんなに「ありがとう!」」で世界の言葉を紹介している。 ○ 地図学習の導入として、「空からまちを見てみよう」で、イラストマップや地図を用いて地図の仕組みを紹介している。 ○ 近畿地方の地図に「金閣」、「東大寺の大仏」の写真を、中部地方の地図に「自動車工場と関連工場の分布」を掲載する等、地域の特徴的な事象を紹介している。 ○ 世界の地方図で、地域の特色を示す物産や建物等のイラストや、特徴的な料理や動物の写真を掲載している。 ○ 「日本の自然◆地形◆」で、日本と世界の主な山、川、湖を比較して紹介している。 ○ 「日本の伝統文化◆歴史的景観、祭り、食文化◆」の「1 日本のおもな歴史的景観と祭り」で、各地の祭りの位置をイラスト等で示すとともに、世界文化遺産等の写真を掲載し、地図にその位置を示している。 ○ 「世界のおもな国の統計」で、オリンピックとワールドカップの開催国を地図上に色分けして示したり、「だれひとり取り残さない世界をめざして」において、SDGsについて説明したりしている。
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全般にわたって、キャラクターの吹き出しで、地図活用のポイントやその土地の様子等を紹介するとともに、「地図マスターへの道」で、地図への関心や地図を読む力を高める工夫をしている。 ○ 巻頭の「地図で世界発見!」のイラストマップに、世界各地の名所や食事、日本が多く輸入するもの等をイラストで示すとともに、「世界の国からこんにちは!」で、世界のあいさつを紹介している。 ○ 地図学習の導入として、「地図の世界へようこそ」「地図ってなんだろう」で、イラストマップや航空写真、地図を用いて地図の仕組みを紹介している。 ○ 広島市の原爆による被害状況、北海道のアイヌ語地名等、各地方図で地域の特徴的な事象を紹介している。 ○ 江戸時代の五街道や江戸の町の土地利用を表す地図を掲載して、歴史学習で活用できるようにしている。 ○ 世界の地方図で、地域の特色を示す物産や建物等のイラストを掲載するとともに、「集まれ!世界の子どもたち」や「世界のSDGs」で、各地域の特徴的な生活や取組について写真で紹介している。 ○ 「日本の自然のようす(1)」で、日本と世界の主な山、川、湖を紹介している。 ○ 「持続可能な開発目標(SDGs)」で、SDGsの17の目標の背景にある課題を説明するイラスト掲載したり、「日本と世界の結びつき」で、SDGsの視点から日本と世界の食料問題についての資料を掲載したりしている。 ○ 「日本の世界遺産」で、世界自然遺産と世界文化遺産の写真を掲載し、地図にその位置を示している。

【地図】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫
方法	作業的・体験的な学習課題の例

作業的・体験的な学習課題の例	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全般にわたって、キャラクターの吹き出しで、学習の手掛かりや視点を示したり、「ホップ1ステップ1マップでジャンプ1」で、「中国自動車道と山陽自動車道を指でなぞってみよう。どちらが人口の多い地域を通っているかな。」等、作業や地図に書かれている情報を読み取る問いを3段階で設定したりしている。 ○ 「世界全図と地球儀」の「地球儀を使って調べる」で、紙テープやトレーシングペーパーを使って、方位や距離、土地の大きさや形を調べる方法を写真入りで掲載し、地球儀と地図を比較する学習を例示している。
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全般にわたって、キャラクターの吹き出しで、学習の手掛かりや視点を示したり、「トライ！」で、地図に親しめる問いを設定したり、「地図マスターへの道」で、「3000mよりも高い山を三つ、この地図からさがしてみよう。」等、作業的な学習を例示したりしている。 ○ 「世界と地球儀」の「地球儀を使おう」で、紙テープやトレーシングペーパーを使って、方位や距離、面積、形を調べる方法を写真入りで掲載し、地球儀と地図を比較する学習を例示している。 ○ 「日本の自然災害と防災（2）」で、防災マップの例を示しながら防災マップ作りの手順を示し、体験的な学習を例示している。

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑤単元や資料等の配列
方法	統計資料と地図の扱い

統計資料と地図の扱い	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本とその周りを見渡す地図に始まり、日本の地方図と都市圏図、世界全図、世界の各地方図、資料地図、統計表、索引の順で配列している。 ○ 各地域を比較できるように、日本の地図において、日本全図は縮尺1,600万分の1（「日本列島－九州から北海道－」は500万分の1）、各地方図は原則として100万分の1（北海道は160万分の1）、都市圏などの拡大図は原則として5万分の1で示されている。 ○ 陸の高さや海の深さが、地図に応じて細かく色分けされており（最大17段階）、土地利用も市街地、工業地などを最大7種類で示している。
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の複数の地方を広く見渡す地図に始まり、日本とその周りを見渡す地図、日本の地方図と都市圏図、世界全図、世界の各地方図、資料図、統計、索引の順で配列している。 ○ 各地域を比較できるように、日本の地図において、広く見渡す地方図は原則として縮尺160万分の1、日本全図は2,000万分の1、各地方図は原則として100万分の1（北海道は160万分の1）、都市圏などの拡大図は原則として5万分の1で示されている。 ○ 陸の高さや海の深さが、地図に応じて細かく色分けされており（最大13段階）、土地利用も商業地、住宅地などを最大8種類で示している。

【地図】

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑥資料読取りのための工夫
方法	ユニバーサルデザイン等に関する配慮

ユニバーサルデザイン等に関する配慮	
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを使用し、文字の視認性を高めるために、白色で縁取りをしている。 ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れて表記するとともに、棒グラフも含め、視認性を高めるために、一部の文字を太字にしている。 ○ 色覚特性のある児童にも判別しやすくするために、「畑」、「果樹園」、「森林（、公園）」の凡例には色に加えて地紋を入れている。
帝国	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを使用し、文字の視認性を高めるために、縁取りを付けている。 ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れて表記している。 ○ 色覚特性のある児童にも判別しやすくするために、「田」、「畑」、「建物が密集しているところ」、「公園や緑地」、「果樹園」、「山地（や丘陵地）」、「森林」、「牧草地」の凡例には色に加えて地紋を入れている。

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑦観察・調査や各種資料の活用の工夫
方法	地図を活用した調べ方の例

地図を活用した調べ方の例	
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「地図帳の使い方◆凡例、さくいん◆」の「2 どこにある？（さくいん）」で、索引の使い方をイラストで説明し、地名の調べ方を例示している。 ○ 日本とその周りを見渡す地図、日本の地方図と都市圏図、世界全図、世界の各地方図、資料地図、統計表において、キャラクターの吹き出しで、具体的な観察・調査方法を示している。 ○ 全般にわたって、「ホップノステップノマップでジャンプノ」で、資料活用の仕方を示している。
帝国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「地図帳の使い方（2）」で、索引の使い方をキャラクターの吹き出しで説明し、地名の調べ方を例示している。 ○ 日本の複数の地方を広く見渡す地図、日本とその周りを見渡す地図、日本の地方図と都市圏図、世界全図、世界の各地方図、資料図において、キャラクターの吹き出しで、具体的な観察・調査方法を示している。 ○ 全般にわたって、「地図マスターへの道」で、資料活用の仕方を示している。

【地図】

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑧調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫
方法	地図を活用した表現の例

地図を活用した表現の例	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本の自然災害」で、ハザードマップを示し、自分の地域のハザードマップで確認する点について掲載し、表現する活動に取り組む際の視点を示している。 ○ 日本の自然、日本の産業、日本の交通、都市、日本の貿易、日本の歴史、日本の伝統文化、日本の自然災害について、資料地図で示している。
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本の自然災害と防災（２）」の、「防災マップづくり」で、地図を使ったまとめ方のヒントや手順を示すとともに、地図の作品の例を掲載し、表現する活動の例を示している。 ○ 日本の自然のようす、日本の自然災害と防災、日本の産業のようす、日本と世界の結び付き、日本の歴史、持続可能な開発目標（SDGs）、日本の世界遺産、都道府県の名前と位置について、資料図等で示している。